

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・気温が低いということもあり、春物の出だしが前年より遅かったが、客の様子をみていると、春物のトレンド商品は、秋冬に比べると購買意欲が増しているように思われる
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・春先に向けての入進学・卒業の時期でもあり、スーツ・フォーマルウェアも含めて婦人服の売上が好調である。また、食品やタオルなどのギフト商品も非常に好調である
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・3月24日現在の来客数がほぼ前年並みとなり、2年前をも上回る勢いがある。ただし、2年前と比較して国内旅行は順調だが海外旅行が停滞気味
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・国内旅行客の動きが活発になり、3月はもちろん4～5月の先行受注も好調になってきた。前年の選挙による出控えで前年比は参考にならないが、販売額・来客数とも上昇している
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・金額はそんなに大きいものではないが、通信に関するインフラ設備投資の話がわずかながら出てきた。IT化による業務効率化を進めて経費を抑える動きについて、これまでは経費が抑えられるかどうか分からないことから「やらない」だったのが「やってみようか」という風潮に変わってきている
		観光名所（役員）	来客数の動き	・ロープウェイの予約状況が強含みで推移している
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客は新しいメニューに興味を示すようになり、商品の購入も増えてきた
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・同業仲間の間も忙しそうなおとところが多い。春を前にして明らかに昨年、一昨年とは様子が違う	
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・月初めに連日大雪が降り、春物衣料・靴などが不振であった。後半になり盛り返したものの、売トを取り戻すことまではできなかった
		商店街（代表者）	販売量の動き	・販売量の変化がみられない
		商店街（代表者）	単価の動き	・天候不順のせいもあるかもしれないが、客は本当に必要なものしか購入しないという傾向が依然として続いている
		スーパー（店長）	お客様の様子	・客数が前年を10%以上も下回るようになってきている。客単価も8%ほど、低下している。買上件数のみが前年をクリアできていることから、安い時に安いものを購入しようとする客の動きがより強く感じられる
		スーパー（店長）	来客数の動き	・BSEや鳥インフルエンザの報道の影響で肉の売上が瞬間的に落ち込んだが、すぐに回復しており、来客数・販売量とも大きな変化はみられない
コンビニ（エリア担当）		来客数の動き	・一部の地域で来客数の回復がみられるが、全体的には来客数の動きに大きな変化はない	
衣料品専門店（店長）		来客数の動き	・依然として来客数が減っており、現在も客足が戻ってきていない	
家電量販店（店員）	販売量の動き	・例年、3月は1人立ちセットの家電品が売れるのだが、今年は単価が低く、必要最低限の用品しか揃えない傾向がある。道内外への発送数も前年比97%程度となっている		
家電量販店（地区統括部長）	販売量の動き	・シングル需要が活発になると思われたが、思いのほか低調に推移している。一方で、アテネオリンピックに向けて積極的な販促展開を実施していることもあり、薄型TV・DVDなどのAV商品は依然好調である		
乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・新車販売は相変わらず厳しい状態にあるが、最近では車検の単価も低下しており、サービス部門の売上も少なくなっている		

	乗用車販売店 (役員)	単価の動き	・受注量の伸び悩みがあり、売上金額の回復がみられない。車検台数、新車販売とも良くなく、大変厳しい状況が続いている。
	住関連専門店 (営業担当)	競争相手の様子	・4月からの総額表示の影響で、同業他店や異業種との価格競争が激しくなっている。意識して単価を上げない店もあり、単価を下げざるを得ない状況が生じている。
	その他専門店 [医薬品] (経営者)	お客様の様子	・客数はほぼ最低ラインまで低下しているが、それ以上に購買数や少量での買物客が増加していることが気になっている。
	高級レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・2月と同様に来客数の減少がみられる。送別会等の受注は多いが、個人客の需要の減少が目立つ。
	高級レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・春休み中の観光客の入り込みを期待したが、入り込みは極端に悪く、前年比では2割の減少となっている。ただし、客単価はほぼ変わらない。
	一般レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・前年の11月から5か月連続して、来客数の前年割れが続いている。
	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・来客数は前年とほぼ同数に推移していることから、景気の動向としてはあまり変わらない。
	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・道内他地区では海外旅行の需要が前年並みに近づきつつあるが、釧路は頭打ちであり、一向に回復の兆しがみえない。
	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・2月に回復した海外旅行が、3月は一転して前年比50%まで転落している。
	タクシー運転手	来客数の動き	・3月は年度末ということもあり、一年のうちで12月に次いでタクシー利用が多く、売上の多い月であるが、今年は2月よりも悪く、札幌市内のタクシーも前年比で10%程度のマイナスとなっている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・例年3月は歓送迎会シーズンとなるが、夜の繁華街への人出は芳しくない。空車の列は相変わらずで、客一人拾うのも苦労している状態だ。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・全体的な販売量の低下もあるが単価の低下もみられる。また、客の判断には、かなり経済的な制約があるように思われる。
やや悪くなっている	一般小売店 [酒](経営者)	単価の動き	・高額商品のウイスキーについては、依然として販売量が良くない状態が続いている。反面、低価格の焼酎等が依然として元気が良い。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・客数は相変わらず前年を10%ほど下回る水準で推移している。売上については食品部門で苦戦が続いているが、2月と比較してやや回復の兆しが
	スーパー(店長)	販売量の動き	・販売数量が10%ほど減少しており、3か月前と比べるとかなり悪くなっている。
	コンビニ(エリア担当)	お客様の様子	・特売商品の動きばかりが目につく。また、競合店の価格が下がっている。
	コンビニ(店長)	単価の動き	・3か月前は規制緩和の関係で酒免許が下りたため酒がよく売れたが、その後、周りの店にも酒免許が付いてしまい、結局は客の奪い合いとなり、単価の下落となってしまった。
	衣料品専門店 (店員)	単価の動き	・見込んでいたジャケットや春物のコート・ブルゾンなどの動きが悪く、Tシャツなどの低単価商品中心の動きになっている。想定よりも売上が下回っている状況である。
	家電量販店 (経営者)	販売量の動き	・耐久消費財の買い控え傾向が強く、「壊れるまでは…」という客が多い。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販売量もそうだが、来客数に動きが全くなく、いつもの3月らしくない。天候にも左右されるかもしれないが、こういう状態は今までなかった。
	高級レストラン(スタッフ)	お客様の様子	・全体の売上は前年から10%のダウンとなっている。料理はほぼ前年並みであるものの、ワインなどの飲物が30%ほどダウンしている。ランチでは、ビジネスマンのミニ送別会のような小グループが目立っていることもあり、前年並みとなったが、ディナーはレストラン離れが加速しており、売上は前年から30%強下がっている。また、個室では、送別会などの団体客が夜から昼へ移行した

		スナック（経営者）	来客数の動き	・3月は歓送迎会などで忙しい月なのだが、最近 は1次会だけで終わることが多く、2次会まで流 れることが少ないため、食事の店は忙しいよう だがスナック・クラブなどは暇なようだ
		観光型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・3月の宿泊客の動きは、前年に比べて18%程 度の減少となる見込みである。その大半はツアー 客の減少によるものである。
		タクシー運転 手	来客数の動き	・市内への観光客数は増えていない。東南アジ アからの観光客などもたまに入っているが、バス を利用するため、タクシーや夜の人出には何ら変 わりなく夜も閑散しているような現状である
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・例年の3月に比べて、モデルハウスなどの来 客数が少なくなっている。
	悪く なっている	住関連専門店 （経営者）	販売量の動き	・だんだんと暖かくなってきたが、依然として 売上は最悪の状態を抜けきれない。
		スナック（経 営者）	来客数の動き	・異動の時期なので、送別会・歓迎会が少しは あるかなと考えていたが、検討違いであった。宴 会が少ないうえ、飲食店街に出てくる客が例年 に比べて少なく感じる
		観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・エージェントの取り扱う道外客が徐々に減少 している。ツアーのユニット人数の小口化に加 えて、湯治客を中心とした地元客の減少が著し い。一方、宿泊単価の平均値も下げ止まらず、追 加飲料・増し料理などの付帯収入も伸び悩んで いる
企業 動向 関連	良く なっている	家具製造業 （経営者）	受注量や販売 量の動き	・首都圏および関西圏ともに販売が上向き傾 向にある。
	やや良 くなっている	輸送業（営業 担当）	取引先の様子	・数社のメーカーに設備投資の動きが出てきた。 投資理由の共通点は、原材料ラインの改造でい ずれも製造コストの削減にある
		通信業（営業 担当）	受注価格や販 売価格の動き	・ここ数年続いた客の価格に対するシビアな視 点が後退し、サービスの機能・付加価値に視 点を置いた商談が増えてきた
		その他非製造 業〔機械卸 売〕（従業員）	取引先の様子	・中国向けのプラント関係の下請けの仕事が 出てきた。しかし、ステンレス材の価格アップ に加えて、中厚板を中心に納期の大幅遅延が 続いている。このため加工現場では材料待ち による「あそび」がでて、原価アップの要因 になっている。ある下請業者の社長からは 「仕事切れのあそびよりはいいが、上からの 話も出ています」
変わらない	食料品製造業 （経営者）	受注量や販売 量の動き	・花見時期にも関わらず天候が不順であるた め、例年に比べて荷動きが悪い。また企業決 算前であるため、商品の仕入れを抑制してい る会社が、例年以上に多い感じがする	
	食料品製造業 （団体役員）	受注量や販売 量の動き	・生鮮食品および加工食品に対する消費者 の安全・安心意識の強まりが、低価格廉価品 から高級品購買への需要変化となっており、 企業利潤も改善している。また、4月から 総額表示が導入されるが、製造企業におい ては理解不足・認識不足があり、混乱する ことが予想される。販売元より税引率の値 引きなどの要請があるが、断っている	
	金属製品製造 業（統括）	受注量や販売 量の動き	・受注・販売量は予想の範囲であり、見積 り物件も前年並みに推移している。	
	通信業（営業 担当）	受注量や販売 量の動き	・受注量は増えたが、通信業という業種柄、 コスト削減のための一時投資がほとんどであ る。	
	金融業（企画 担当）	それ以外	・建設業は民間・公共工事の減少から、受 注価格が低下して厳しさが続いている。食品 関連もB S F・臭インフルエンザの影響を 受けている	
	司法書士	取引先の様子	・依然として不動産取引が低調で、住宅 建築においても活気を取り戻すことができ ない状況である	
	その他サービ ス業〔建設機 械リース〕 （支店長）	競争相手の 様子	・依然として、同業者の受注状況が回復 していない。	

	やや悪くなっている	輸送業（支店長）	取引先の様子	・中国の旺盛な需要により原材料、特に鋼材・石炭・スクラップなどがバブル期を思わせるような状況となり、各社ともコスト増となっている。大手は何とか価格に転嫁しているようだが、中小企業ファブ・鉄工所などでは、道内需要の落ち込みと相まって経営が悪化しており、一部倒産も
		その他企業 [コンベンション担当]	受注量や販売量の動き	・年度末の動きが非常に悪い。特に、医療関係・医大関係の物件などが減少している。また、問合せも年度末ぎりぎりの25日、26日に集中している
	悪くなっている	司法書士	取引先の様子	・不動産をはじめ、建物・建築の話が全くみられない。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	それ以外	・派遣の依頼が増加傾向にある。派遣職種としては、一般事務系の派遣に加え、チラシ配り・会員獲得などの販売促進に関わる派遣業務などがある。更に販売に関わる派遣も増加している。ただし、新入学・新入社員の動き出す時期でもあり、これが継続するかは疑問である。加えて、スーパー等の小売業者には消費税の表示変更に伴う、売上利益への影響が懸念され、予算を絞っている
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人広告の受案件数が増加傾向にある。ただし、サービス・飲食業のパート・アルバイトの求人が全体の65%前程度を占めている
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・春先にオープン予定の大型ショッピングセンターの影響で、求人動向が若干上向きとなっている
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が3か月連続して増加している。特に、サービス業のうち老人福祉事業で増加が目立っている
		学校[大学]（就職担当）	採用者数の動き	・就職内定者が前年より若干良くなっている。
		変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・新規求職申込件数が減少して、新規求人申込件数が増加しているが、採用数が昨年の悪かった時期と比べても低調である
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の有効求人倍率は0.43倍で、前年と比べ0.03ポイント上昇したが、パート求人占める割合も高く、依然として厳しい雇用環境にある
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で増加しているものの、新規求人数に占めるパートの割合が前月に比べ3.7ポイント増加している
	やや悪くなっている			
	悪くなっている	-	-	-